特定非営利活動法人自然体験村虫夢ところ昆虫の家

ところ昆虫の家15年のあゆみ

2000年~2014年



ごあいさつ

「子どもたちが、少年時代に何か楽しい思い出を残せる場所を作ろう」という気持ちから平成元年「ところ昆虫の家」が元自衛官だった滝沢始氏が廃校となっていた常呂町吉野地区の旧吉野小学校に創設いたしました。ところが滝沢氏が急逝し、その志を引き継ぐため地域住民が集まり「ところ昆虫の家虫夢友の会」が誕生し、平成13年6月組織を「特定非営利活動法人自然体験村虫夢ところ昆虫の家」に改組し今日に至っております。

(独) 国立青少年教育振興機構「子どもの体験活動の実態に関する調査研究」によれば、「子どもの頃の体験が豊富な大人ほど、やる気や生きがいを持っている人が多い」(成人調査)、「友だちの多い子どもほど学校好き、憧れる大人のいる子どもほど働くことに意欲的」(青少年調査)など、子どもの頃の体験は、その後の人生に影響することが示唆される結果が出ています。

昨今、青少年の悲惨な犯罪が目立ってきました。この事犯は社会的問題もあると思いますが、 親と子、大人と子どもの触れ合いが減少し子どもたちが思いやりの心や命の大切さが杞憂になっ たことと思います。子どものすこやかな成長を願っていても、実際は触れ合う場所も少なくなっ たことも確かです。ところ昆虫の家には広いフィールドがあります。このフィールドを使い既に 社会の第一線から退いている人達が親身となって自然体験を通し「かわいい子には体験を・・子 どもの頃の体験は人生の基盤・・」を合言葉に会員一同頑張り続けております。

特定非営利活動法人 自然体験村 虫夢ところ昆虫の家

理事長 川上 和則

目次

第一部 基本的生活習慣

事務局及びプログラム講師

ところ昆虫の家とは

施設探索

音楽

おやつ

積み木

サッカー

団らん・休息

虫捕り

池遊び

健康管理

お風呂(野天五右衛門風呂)

ラジオ体操

洗濯

部屋生活

勉強

料理

食事準備

食事

食器洗い

清掃

第二部 プログラム

農業体験

昆虫採集				
紙すき				
夜間採集				
星座観察				
水ロケット				
イスつくり				
原始魚釣り				
たたら鉄				
七夕まつり				
流しソーメン				
野焼きパン				
天井画作成				
蝶の鱗粉転写				
巨木探索				
サクラ・ナナカマドロード整備				
本のしおり作成				
科学の実験				
• マゲデブルグの半球(雲をつくろう)気圧の実験				
天北星座作成				
宇宙ブランコ				
子どもの企画				
紙飛行機				
地震と津波の実験				
イカダ下り				
果樹園整備				

ツリークライミング

盆踊り

ホタテ漁

火山灰の壁に壁画

第一部 基本的生活習慣

事務局およびプログラム講師



理事長 川上和則(農業法人ひかり代表)



事務長 若原和則(ところ昆虫の家事務長)



理事 忠津信征(忠津鉄工代表)



理事 山口泉一(元北見消防署常呂支署長)



理事 遠藤寿男 (元網走中部森林管理署)



理事 伊藤 哲(元網走中部森林管理署)



プログラム指導 境 智洋(北海道教育大学准教授)



プログラム指導 中山浩介(中山ボイラー代表)

「ところ昆虫の家」とは

昆虫の家の敷地は借用地も含め約5町歩あります。地権者のご遺族である娘さんからところ昆虫の家の活動に活用してほしいとの申し出があり現在に至っています。昭和43年に廃校となった旧吉野小学校の敷地建物は平成18年2月特定非営利法人自然体験村虫夢ところ昆虫の家が所有権移転(買戻特約付)により現在に至る。 敷地の90%は森林です。現在、裏山を開墾し、体験果樹園畑を整備しております。5年後にはたくさんの果実の収穫を夢みております。

施設探索



音楽







サッカー





虫捕り



池遊び



健康管理

















お風呂(野天五右衛門風呂)



ラジオ体操











洗濯





部屋生活



昆虫の家・とまってけや(列車)







料理



食事準備



食 事



食器洗い



清 掃





ニワトリ小屋も清掃です・

第二部 プログラム

農業体験



昆虫採集



紙すき



夜間採集



星空観察







イスつくり



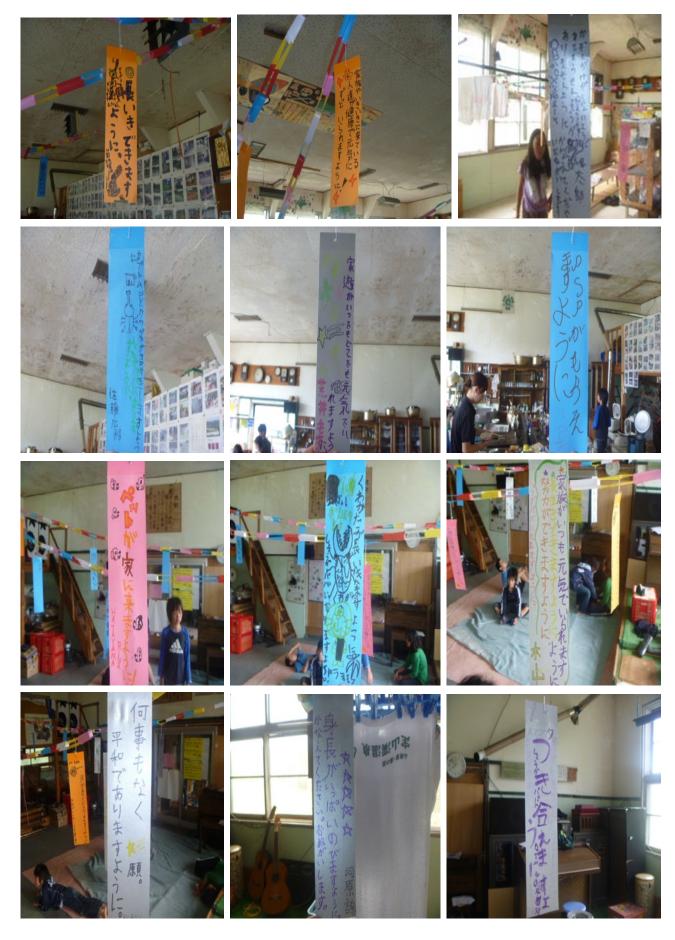
原始魚釣り



たたら鉄



七夕まつり



流しソーメン





























野焼きパン



天井画作成



蝶の鱗粉転写



巨木探索



サクラ・ナナカマドロード整備















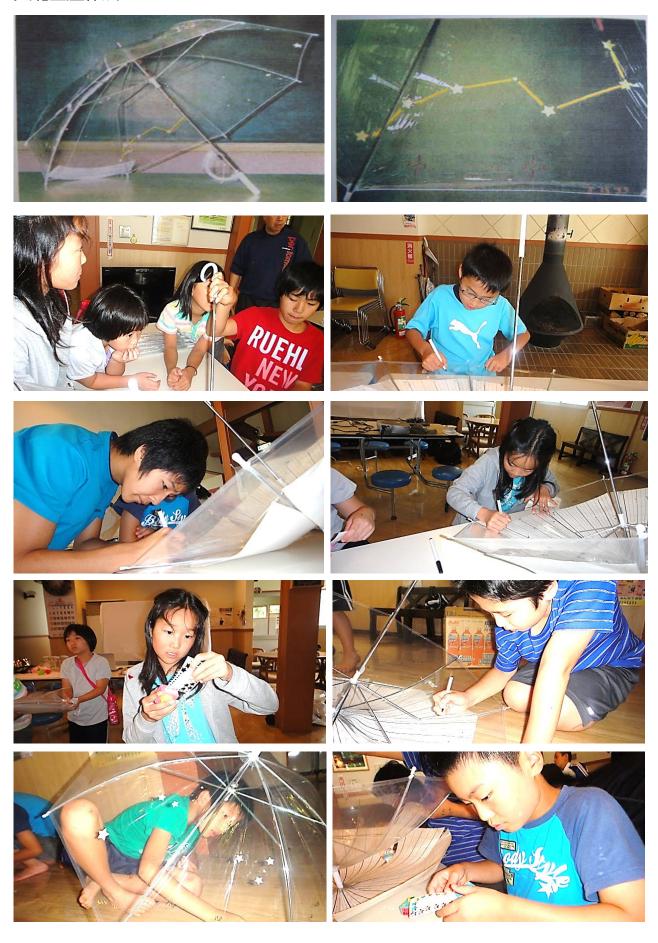
科学の実験



マグデブルグの半球 雲をつくろう 気圧の実験



天北星座作成

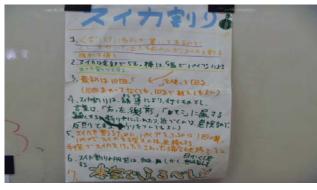


宇宙ブランコ





子どもの企画















紙飛行機













地震と津波の実験



イカダ下り



体験果樹園畑整備

一昨年から裏山を整備し3ヘクタールの農園がやっと出来ました。時間がかかったのは外敵(エゾシカ、ヒグマ等)の食害を守るため敷地内に金網を張る作業が二年間にわたり施工されていたからです。今回は地域の住民も参加して大がかりな果樹を植えました。





























ツリークライミング













盆踊り



ホタテ漁体験















火山ができるまで



火山灰の壁に彫刻

















あとがき

2000年から始まった自然体験は、21世紀を担う子どもたちに大人が何を伝え残すか、何を体験させるかを考え、月二回の「週末自然体験」年二回の「親と子の理科教室」そして夏休みには二週間におよぶ「夏休み長期自然体験」を15年間実施し、全国で17都道府県73市区町村360余人の子どもたちが参加し、初年度参加者の中には医者になった子、獣医になった子、保母さんになった子、太鼓奏者になった子、絵本作家になった子、教師になった子など種々の職業で活躍しております。最近では体験果樹園畑で育成した野菜を地区の老人ホームや独居老人宅などに取り立ての新鮮野菜を配布しております。

年々会員も年老いておりますが、命ある限りこの自然体験を続行するつもりでおります。ただ、 若い人の後継者が居ないのが悩みの種であります。どうぞ一度この「ところ昆虫の家」へ未来ある子どもたちを連れてご来訪くださり、一日ゆっくりと野天五右衛門風呂で星空を眺めながら人生のひと時を過ごしてください。

特定非営利活動法人 自然体験村 虫夢ところ昆虫の家 事務長 若原 和政

特定非営利活動法人 自然体験村 虫夢ところ昆虫の家ところ昆虫の家15年のあゆみ

2015年(平成27年)7月26日 第1刷発行

文責・編集 若 原 和 政

発 行 特定非営利活動法人 自然体験村 虫夢ところ昆虫の家

住 所 〒093-0335

北海道北見市常呂町字吉野137番地

電 話 090-8632-0995

メ ー ル wakahara@mu-mu-tokoro.jp